社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和06年08月27日

計画の名称	いすみ市津波に強いまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	令和０４年度　～　令和０５年度　(2年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	いすみ市		
計画の目標	いすみ市第２次総合計画の施策の基本方針の一つである「安全・安心なまちづくりの推進」において、津波被害を想定した「安全で安心できる避難環境の確保」を目指して、 「いすみ市地域防災計画」に基づく更なる災害に強いまちづくりを推進していく。 ①安全な一時避難地の確保　・津波発生時に避難場所（施設）がない地域に対し、一時的に避難可能な避難施設を確保する。 ②避難路の整備　・津波から命を守るため、安全な高台や避難施設、避難場所等へ円滑な避難のための避難路の整備を行う。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	315	A	315	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度末	令和4年度末	令和5年度末
1	津波避難タワーの整備により周辺地域の避難困難者89名を0名に減少させる。			
	避難困難者数	89人	0人	0人
2	避難路の整備により円滑な交通を確保し、最大避難時間が約20分以内で避難できるようにする。			
	最大避難時間 最大避難時間＝最大避難距離÷平均速度　※平均速度（徒歩0.5m/秒・車いす0.9m/秒）	25分	20分	20分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	－	避難行動要支援者名簿の提供	×

案件番号：　0000604538

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	いすみ市	直接	いすみ市	－	－	避難路整備事業（市道3294号線、市道3298号線）	L=0.57km　W=6.0m	いすみ市	■					21		－
	A13-002	都市防災	一般	いすみ市	直接	いすみ市	－	－	避難タワー整備（岬町江場土地先）	H=8.6m　A=118㎡　収容人員100人	いすみ市	■	■				294		－
											小計						315		
											合計						315		

案件番号：　0000604538

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 社会資本整備計画の事後評価としていすみ市で実施	事後評価の実施時期 令和６年８月 公表の方法 いすみ市のホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波避難タワーの整備では、タワー周辺地域の避難困難者を減少させることができた。 避難路の整備では道路の拡幅により円滑な交通を確保でき、避難に要する時間の短縮が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

案件番号： 0000604538

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	0人	
	最　終 実績値	0人	
2			
	最　終 目標値	20分	
	最　終 実績値	20分	